

第2節 小学生の学習観・成績観

1. 成績観

①成績の自己評価

第1回、第2回、第3回調査ともに、自分の成績が「上位」と答えた割合がおよそ3割、「中位」が33～34%、そして「下位」が32～36%とほぼ均等な値で安定している。算数は男子が、国語は女子が自分の成績を高く評価する傾向がある。

Q

- ・あなたの今の成績は、クラスの中でどのくらいですか。
- ・次の教科（算数、国語）の今の成績は、クラスの中でどのくらいですか。
- ・あなたはどのくらいの成績がとれたらいいと思いますか。
- ・今の成績は別として、あなたがうんとがんばれば、どのくらいの成績がとれると思いますか。

図1-2-1は、時系列および性別に総合的な成績を自己評価させた結果をみたものである。この図で第1回調査から第3回調査まで、いずれの調査も、自分の成績が「上位（7段階で『1』『2』『3』）」と答えた割合がおよそ3割、「中位（7段階の『4』）」と答えた割合が33～34%、そして「下位（7段階の『5』『6』『7』）」と答えた割合が32～36%と比較的安定している。このように、総合成績の自己認識は偏りが少なく均等に分布しており、学級内に成績を自己認識させる機会が用意されていることが推測される。同じ図で、性別には、第3回調査の比較では男子の成績自己評価が女子の成績自己評価を上回っており、特に上位では、男子34.7%対女子27.6%と7.1ポイントの開きになっている。

表1-2-1で、「算数と国語の成績の自己評価」では、国語は、「上位」「中位」「下位」の割合が34.9%、32.6%、30.6%となっ

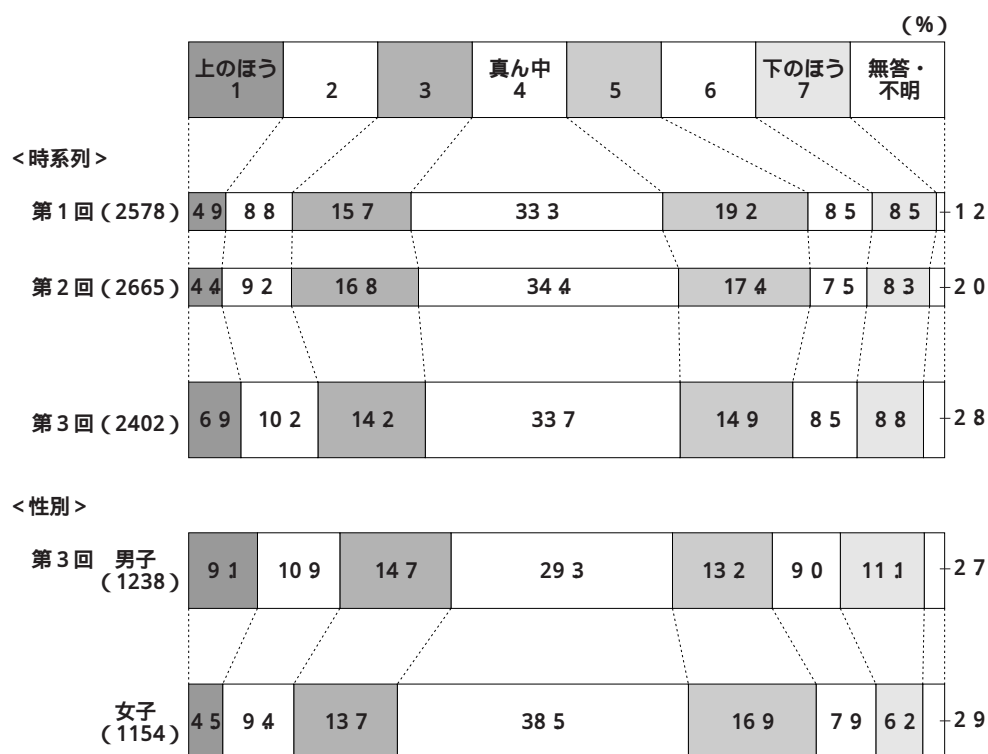
ており、きれいに3等分している。これに対して算数は、同じく、37.2%、25.9%、35.0%となっており、「上位」と「下位」に2極分化している。性別には、男子の場合は国語も算数ともに2極分化の傾向がみられる（「中位」の割合が国語28.1%、算数23.0%と少ない）が、女子は男子と比べて2極分化の傾向が弱い。また、算数では男子が「上位」と答えた割合が多く、国語では女子が多い。つまり、算数は男子がよい成績をとり、国語は女子がよい成績をとっていると回答する傾向がある。

最後に図1-2-2で、「とりたい成績」と「がんばればとれると思う成績」を尋ねた結果、「とりたい成績」は、7段階のうち「1」「2」「3」を合計するといずれの調査時点でも85%前後に達する。また、第2回調査に「1」の割合が45.9%まで下がったが、第3回調査には52.8%まで増えている。子どもた

ちの成績に関する肯定的な希望が回復している。さらに、「がんばればとれると思う成績」は、7段階のうち「1」「2」「3」を合計し

た割合は、いずれの調査時点でも8割強で、こちらはあまり変動がなかった。

図1 - 2 - 1 総合成績の自己評価（時系列・性別）



注）（ ）内はサンプル数。

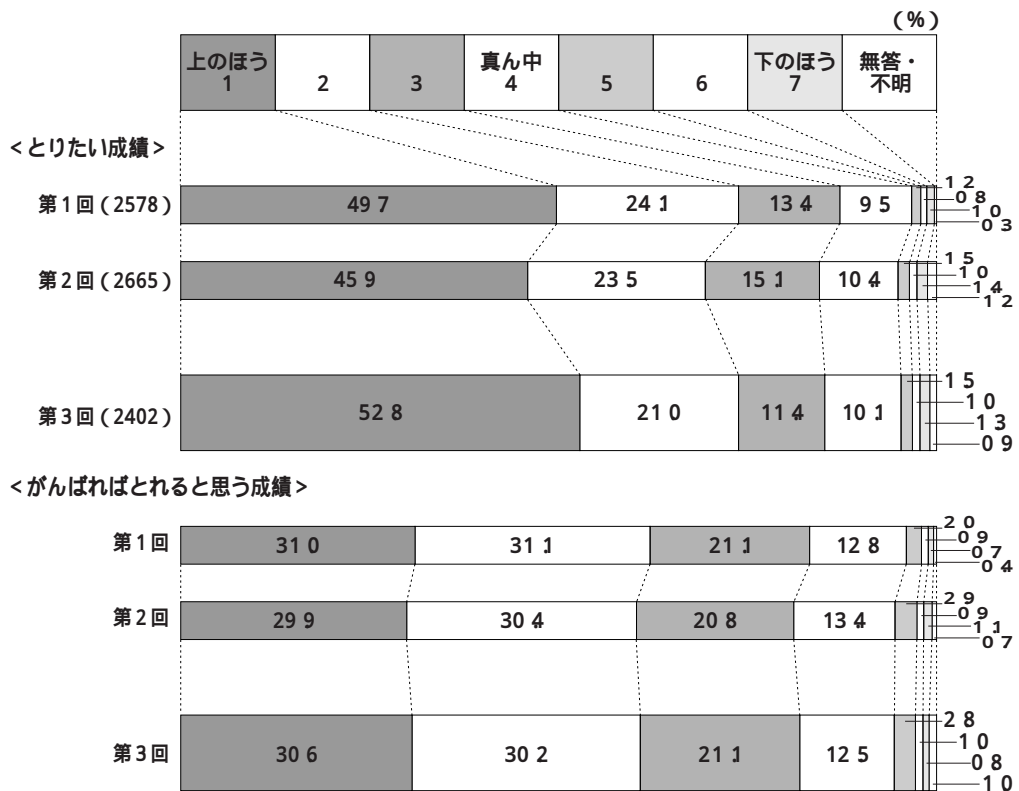
表1 - 2 - 1 算数と国語の成績の自己評価（性別）

（％）

	算 数			国 語		
	全体 （2402）	男子 （1238）	女子 （1154）	全体	男子	女子
1（上のほう）	11.5	15.4	7.3	7.4	6.9	7.9
2	11.1	13.2	8.8	10.6	10.1	11.1
3	14.6	16.1	13.1	16.9	16.0	17.9
4（真ん中）	25.9	23.0	29.1	32.6	28.1	37.3
5	15.2	11.0	19.9	15.3	16.6	14.0
6	9.6	8.4	10.9	8.1	9.9	6.0
7（下のほう）	10.2	10.8	9.3	7.2	10.1	4.0

注）（ ）内はサンプル数。

図1-2-2 とりたい成績・がんばればとれると思う成績（時系列）



②成績観・学力観

子どもたちは成績や学力に関してアンビバレントな考えを持っていて、「将来ふつうに生活するのに困らないくらいの学力があればいい」が62.3%いるかと思うと、他方では「できるだけいい高校や大学に入れるよう、成績を上げたい」も67.0%いる。



あなたは、次のように思うことがありますか。

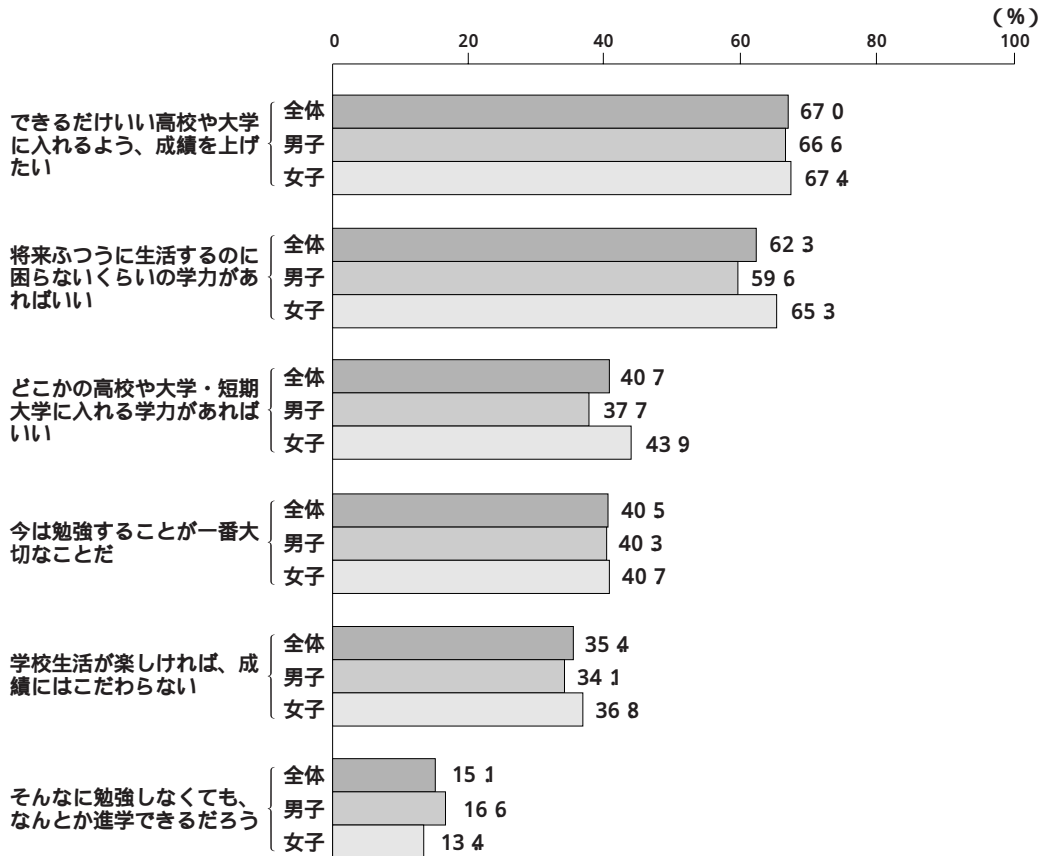
子どもたちは成績や学力に関してアンビバレントな考えを持っている（図1-2-3）。一方では「将来ふつうに生活するのに困らないくらいの学力があればいい」が62.3%いるかと思うと、他方では「できるだけいい高校や大学に入れるよう、成績を上げたい」も67.0%いる。また、「学校生活が楽しければ、成績にはこだわらない」が35.4%と少数派であるが、それでは成績にこだわるかかというと、「今は勉強することが一番大切なことだ」という意見も40.5%と少数派だ。なお、将来の見通しと関連しては、「そんなに勉強しなくても、なんとか進学できるだろう」が15.1%と少数派であり、勉強が進学にとって不可欠であると認識している。

性別に成績観・学力観をみると、「将来ふつうに生活するのに困らないくらいの学力があればいい」が男子59.6%対女子65.3%、「ど

こかの高校や大学・短期大学に入れる学力があればいい」が男子37.7%対女子43.9%の2項目で女子のほうが肯定的である。つまり、女子は学力や成績で社会的・経済的な上昇移動をはかろうとはしていないことが推測される。

次に、表1-2-2で、成績の自己評価別に成績観・学力観をみると、成績自己評価の下位者ほど「将来ふつうに生活するのに困らないくらいの学力があればいい」「学校生活が楽しければ、成績にはこだわらない」「そんなに勉強しなくても、なんとか進学できるだろう」と答え、成績自己評価の上位者ほど「できるだけいい高校や大学に入れるよう、成績を上げたい」と答えている。成績自己評価の下位者は、小学生の段階ですでに成績競争、学歴競争から離脱する傾向を見せはじめている。

図1 - 2 - 3 成績観・学力観（性別）



注1) 複数回答。

注2) サンプル数は全体2402人、男子1238人、女子1154人。

表1 - 2 - 2 成績観・学力観（成績の自己評価別）

	(%)		
	上位 (750)	中位 (809)	下位 (775)
できるだけいい高校や大学に入れるよう、成績を上げたい	73.7	67.6	60.5
将来ふつうに生活するのに困らないくらいの学力があればいい	56.1	63.0	68.5
どこかの高校や大学・短期大学に入れる学力があればいい	38.3	43.9	40.0
今は勉強することが一番大切なことだ	39.9	38.4	42.8
学校生活が楽しければ、成績にはこだわらない	29.7	34.0	42.5
そんなに勉強しなくても、なんとか進学できるだろう	10.5	13.5	21.3

注1) 複数回答。

注2) 成績の自己評価は、「あなたの今の成績はクラスの中でどのくらいですか」の項目に、「1（上のほう）～3」と回答した児童を「上位」、「4（真ん中）」を「中位」、「5～7（下のほう）」を「下位」とした。

注3) () 内はサンプル数。

2. 学習していて感じること

不思議さやすばらしさを感じることに 대해서는、「生き物や自然を『すばらしい』とか『ふしぎだな』と感じる」が81.6%でもっとも高く、好きだったり意欲があるかについては、「自分や相手の気持ち・考えをうまく出し合えたらいいなと思う」が71.1%でもっとも高い。



あなたは勉強していて、次のように感じることがありますか。

次に、表1-2-3を用いて、子どもたちが学習しているときに感じることをみてみよう。この質問は、新学力観の影響などをみるために第2回調査からつけ加えられた質問である。質問は、理科、社会、算数、国語のそれぞれの教科について、教科を通して不思議さやすばらしさを感じることもあるか否か、そしてその教科の内容を考えたり調べたりすることが好きだったり意欲があるか否かを尋ねている。第3回調査からは英語によるコミュニケーションへの意欲も追加した。

「よくある」「時々ある」と回答した割合について第3回調査の結果をみると、不思議さやすばらしさを感じることに 대해서는、「生き物や自然を『すばらしい』とか『ふしぎだな』と感じる」が81.6%でもっとも高く、続いて、「国語の教科書を読んでいて、登場人物や書いてある内容に興味がわいてくる」が68.2%、「社会のしくみや歴史のできごとを『すばらしい』とか『ふしぎだな』と感じる」が64.7%、「算数の考え方や解き方を『すばらしい』とか『ふしぎだな』と感じる」が58.1%で、算数をもっとも低い値になっている。

また、好きだったり意欲があるかについては、「自分や相手の気持ち・考えをうまく出し合えたらいいなと思う」の71.1%がもっとも高く、第2位に「生き物や自然のことを調べたり考えたりするのが好きだ」の64.3%、

そして第3位に新しく加えた「英語を使って外国の人と話したり、手紙を書いたりしてみたい」の60.5%が入り、これに「算数の問題の解き方を考えたり工夫したりするのが好きだ」が48.5%と続き、最下位に「社会のしくみや歴史のできごとを調べたり考えたりするのが好きだ」が42.3%となっている。このとき、「不思議さやすばらしさを感じること」と「好きだったり意欲があること」の間には、国語以外の3教科で、後者のほうが前者よりも10%から20%ほど低くなっている。つまり、「不思議さやすばらしさを感じること」がそのまま「好きだったり意欲を持つこと」へはつながらない。

同じ表で、性別には国語で女子のほうが男子よりも、不思議さやすばらしさを感じることに、好きだったり意欲を持つことが高い値になっている。また、「英語を使って外国の人と話したり、手紙を書いたりしてみたい」は女子が男子よりも30ポイント近く高い値になっている。

表1-2-4は、学習していて感じることを成績の自己評価別に表にしたものである。すべての項目で成績自己評価の下位者よりも中位者、中位者よりも上位者が、明確に肯定的な回答をしている。つまり、各教科に関して、不思議さやすばらしさを感じ、好きだったり意欲を持っている。さらに、表1-2-

5は、通塾・非通塾別および、学習塾のタイプ別に学習していて感じることを表にしたものである。理科の「生き物や自然を『すばらしい』とか『ふしぎだな』と感じる」以外のすべてで、「進学塾」通塾者は「補習塾」通塾者よりも不思議さやすばらしさを感じ、好

きだったり意欲を持っている。

最後に、表1-2-6にあるように、各教科を好きな子どもは嫌いな子どもと比べて、きわめて明確に、その教科に対して不思議さやすばらしさを感じ、好きだったり意欲を持っている。

表1-2-3 学習していて感じること（時系列・性別）

(%)

	第2回 (2665)	第3回 (2402)	第3回	
			男子 (1238)	女子 (1154)
生き物や自然を「すばらしい」とか「ふしぎだな」と感じる	80.0	81.6	80.0	83.3
社会のしくみや歴史のできごとを「すばらしい」とか「ふしぎだな」と感じる	64.5	64.7	63.3	66.2
算数の考え方や解き方を「すばらしい」とか「ふしぎだな」と感じる	55.3	58.1	57.0	59.3
国語の教科書を読んでいて、登場人物や書いてある内容に興味がわいてくる	66.0	68.2	63.5	< 73.3
生き物や自然のことを調べたり考えたりするのが好きだ	56.2	64.3	66.1	62.4
社会のしくみや歴史のできごとを調べたり考えたりするのが好きだ	42.7	42.3	44.3	40.1
算数の問題の解き方を考えたり工夫したりするのが好きだ	48.5	48.5	54.2	≫ 42.4
自分や相手の気持ち・考えをうまく出し合えたらいいなと思う	75.5	71.1	65.0	≪ 77.6
英語を使って外国の人と話したり、手紙を書いたりしてみたい	—	60.5	47.2	≪ 75.2

注1) 数値は「よくある」と「時々ある」の合計。 注2) 第1回、—は該当項目なし。

注3) ≪ ≫は男女で10%以上、< >は5%以上差があるもの。 注4) ()内はサンプル数。

表1-2-4 学習していて感じること（成績の自己評価別）

(%)

	上位 (750)	中位 (809)	下位 (775)
生き物や自然を「すばらしい」とか「ふしぎだな」と感じる	85.3	81.8	77.8
社会のしくみや歴史のできごとを「すばらしい」とか「ふしぎだな」と感じる	73.3	67.0	53.5
算数の考え方や解き方を「すばらしい」とか「ふしぎだな」と感じる	69.5	58.8	46.6
国語の教科書を読んでいて、登場人物や書いてある内容に興味がわいてくる	77.6	69.6	58.2
生き物や自然のことを調べたり考えたりするのが好きだ	69.3	63.0	60.3
社会のしくみや歴史のできごとを調べたり考えたりするのが好きだ	54.7	40.5	31.2
算数の問題の解き方を考えたり工夫したりするのが好きだ	67.6	45.7	32.8
自分や相手の気持ち・考えをうまく出し合えたらいいなと思う	78.5	74.8	60.0
英語を使って外国の人と話したり、手紙を書いたりしてみたい	67.5	64.2	50.5

注1) 数値は「よくある」と「時々ある」の合計。

注2) 成績の自己評価は、「あなたの今の成績はクラスの中でどのくらいですか」の項目に、「1（上のほう）～3」と回答した児童を「上位」、4（真ん中）を「中位」、5～7（下のほう）を「下位」とした。 注3) ()内はサンプル数。

表1 - 2 - 5 学習していて感じること（通塾・非通塾別／塾のタイプ別）

（％）

	通塾者 全体 (807)	通塾（塾のタイプ）			非通塾者 (1253)
		補習塾 (455)	進学塾 (224)	その他 (101)	
生き物や自然を「すばらしい」とか「ふしぎだな」と感じる	83.4	84.6	83.5	81.2	81.9
社会のしくみや歴史のできごとを「すばらしい」とか「ふしぎだな」と感じる	69.0	65.9	75.4	72.3	62.7
算数の考え方や解き方を「すばらしい」とか「ふしぎだな」と感じる	63.6	59.8	70.5	66.3	56.8
国語の教科書を読んでいて、登場人物や書いてある内容に興味をわいてくる	73.5	70.3	81.3	74.3	65.9
生き物や自然のことを調べたり考えたりするのが好きだ	64.3	62.9	67.9	64.4	64.5
社会のしくみや歴史のできごとを調べたり考えたりするのが好きだ	47.0	42.4	60.7	38.6	40.7
算数の問題の解き方を考えたり工夫したりするのが好きだ	56.2	50.8	68.3	57.4	45.4
自分や相手の気持ち・考えをうまく出し合えたらいいなと思う	72.2	71.9	74.6	71.3	72.0
英語を使って外国の人と話したり、手紙を書いたりしてみたい	66.4	63.5	72.8	68.3	58.9

注1) 数値は「よくある」と「時々ある」の合計。

注2) () 内はサンプル数。

表1 - 2 - 6 学習していて感じること（教科の好き嫌い別）

（％）

	国語の好き嫌い	
	好き (1313)	嫌い (364)
国語の教科書を読んでいて、登場人物や書いてある内容に興味をわいてくる	78.4	47.3
自分や相手の気持ち・考えをうまく出し合えたらいいなと思う	80.0	51.6
	社会の好き嫌い	
	好き (1192)	嫌い (465)
社会のしくみや歴史のできごとを「すばらしい」とか「ふしぎだな」と感じる	74.1	45.4
社会のしくみや歴史のできごとを調べたり考えたりするのが好きだ	58.5	16.8
	算数の好き嫌い	
	好き (1335)	嫌い (531)
算数の考え方や解き方を「すばらしい」とか「ふしぎだな」と感じる	70.7	33.9
算数の問題の解き方を考えたり工夫したりするのが好きだ	67.6	13.0
	理科の好き嫌い	
	好き (1639)	嫌い (236)
生き物や自然を「すばらしい」とか「ふしぎだな」と感じる	85.7	63.6
生き物や自然のことを調べたり考えたりするのが好きだ	72.8	36.9

注1) 数値は「よくある」と「時々ある」の合計。

注2) 「好き」は「とても好き」「まあ好き」と回答した児童、「嫌い」は「まあ嫌い」「とても嫌い」と回答した児童。

注3) () 内はサンプル数。

3 . 学習上の悩み

「問題が解けたり、何かがわかるとうれしい」が81.0%、「新しいことを知るのが好きだ」が62.3%と回答しており、“新学力観的な意味”で学習に対して肯定的である。「もっと成績をよくしたい」が80.3%で成績志向も強い。



あなたは勉強について、次のように思うことがありますか。

表 1 - 2 - 7 をみると、小学生は、「問題が解けたり、何かがわかるとうれしい」が81.0%、「新しいことを知るのが好きだ」が62.3%と回答しており、“新学力観的な意味”で学習に対して肯定的である。悩みとしてもっとも割合が高かったのは、「もっと成績をよくしたい」の80.3%で成績志向も高い。また、「どうしても好きになれない科目がある」が63.7%と、教科の好き嫌いが悩みの原因と

なっている。そして、およそ4割の子どもが「わかりやすい授業にしてほしい」(41.3%)、「覚えなければいけないことが多すぎる」(39.7%)と学習の困難を訴えている。さらに、「上手な勉強の仕方がわからない」は30.5%と3割になっている。ただし、「何のために勉強しているのかわからない」という疎外感12.6%と少ない。また、学習上の悩みの性差は小さい。

表 1 - 2 - 7 学習上の悩み（性別）

(%)

	全体 (2402)	男子 (1238)	女子 (1154)
問題が解けたり、何かがわかるとうれしい	81.0	77.6	< 84.7
もっと成績をよくしたい	80.3	80.4	80.3
どうしても好きになれない科目がある	63.7	61.0	< 66.6
新しいことを知るのが好きだ	62.3	64.6	60.0
勉強で友だちに負けたくない	55.5	57.6	53.3
わかりやすい授業にしてほしい	41.3	42.2	40.3
覚えなければいけないことが多すぎる	39.7	41.2	38.0
4年生までにもっと勉強しておけばよかった	35.4	36.8	33.8
上手な勉強の仕方がわからない	30.5	27.9	< 33.3
何のために勉強しているのかわからない	12.6	13.2	11.8

注 1) 複数回答。

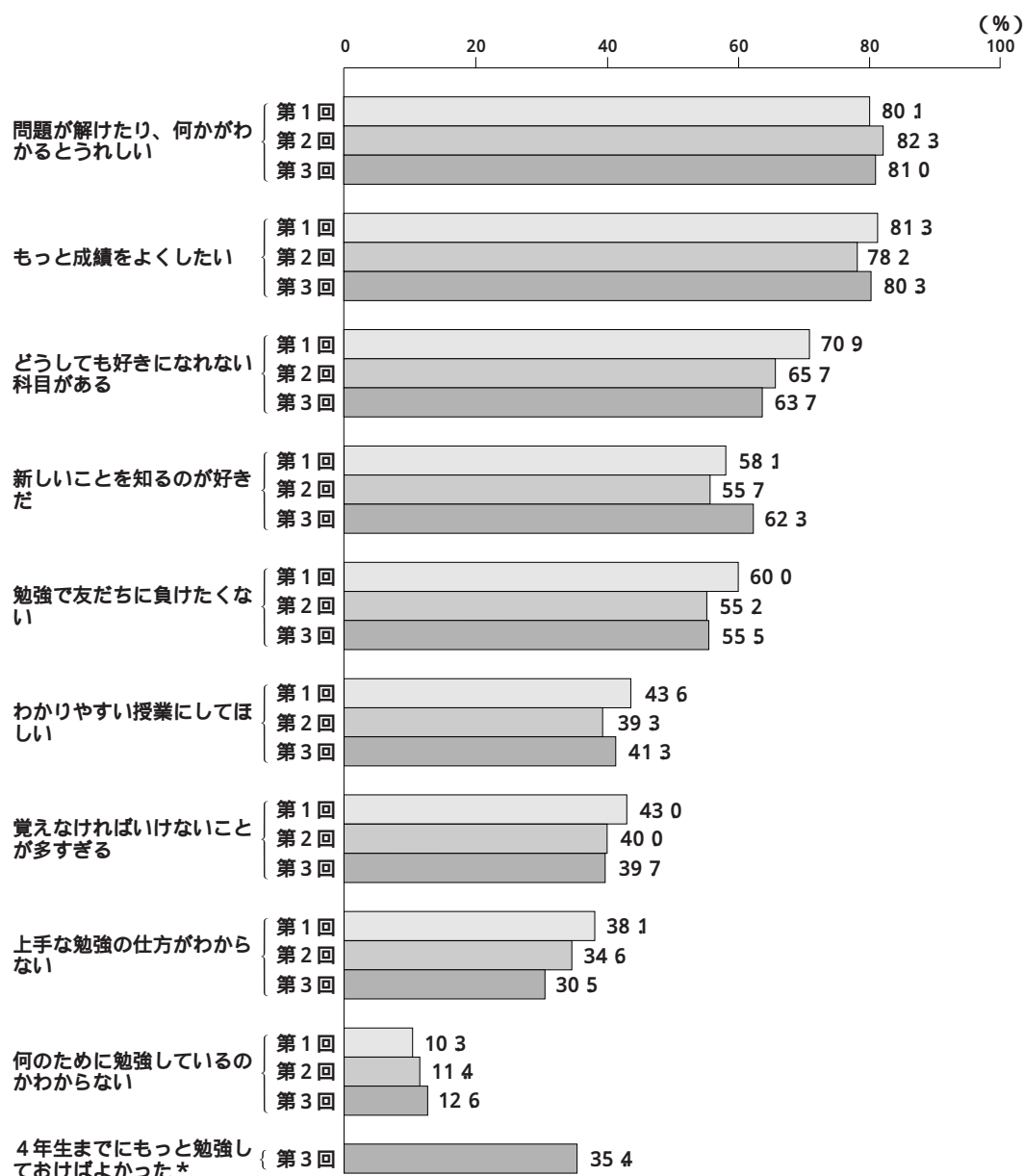
注 2) < > は男女で 5 % 以上差があるもの。

注 3) () 内はサンプル数。

図1 - 2 - 4で、この11年間の変化をみると、「上手な勉強の仕方がわからない」(第1回38.1%→第2回34.6%→第3回30.5%)や「どうしても好きになれない科目がある」(70.9%→65.7%→63.7%)と勉強方法や興

味を持たないことからくる悩みが減少している。反対に、第2回調査から第3回調査にかけて「新しいことを知るのが好きだ」が増加している。一連のカリキュラム改革の成果が現れているのかもしれない。

図1 - 2 - 4 学習上の悩み(時系列)



注1) 複数回答。

注2) *は第1回、第2回に該当項目なし。

注3) サンプル数は第1回2578人、第2回2665人、第3回2402人。

4 . 進路・進学意識

① 中学受験と希望する進学段階

中学受験希望率は、第1回15.7%→第2回17.7%→第3回17.9%であった。また、将来希望する進学段階は、「わからない」が第1回調査と第3回調査の間で12ポイントも減少し、小学生の進路意識が明確化した。また、「中学校まで」「高校まで」「専門学校・各種学校まで」の合計が28.1%から46.6%へと増加し、高学歴志向が弱まった。

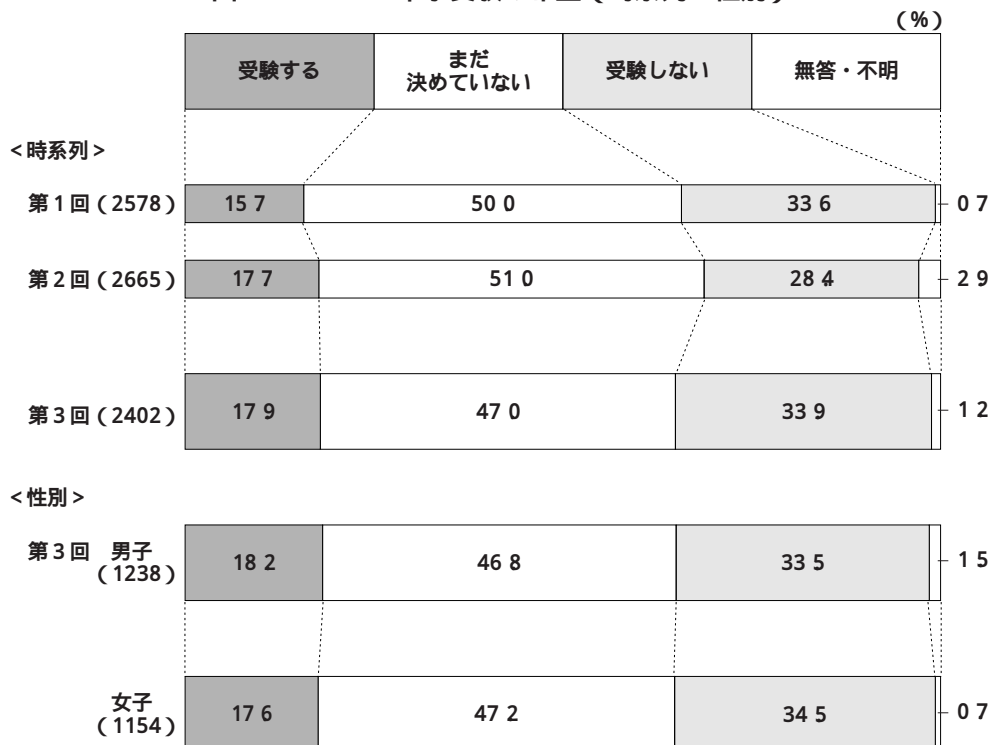
Q

- あなたは、どこかの中学校（私立中学校や国立大学の附属中学校）を受験しようと思っていますか。
- あなたは将来、どの学校まで進みたいですか。

中学受験を希望する子どもの割合は、図1-2-5にあるように、第1回調査の15.7%から、第2回調査は17.7%と微増し、第3回

調査はほぼ同じ水準の17.9%であった。また、性別では男子が18.2%、女子が17.6%でほぼ同じ割合であった。

図1-2-5 中学受験の希望（時系列・性別）



注) () 内はサンプル数。

表1-2-8は、希望する進学段階を尋ねた結果である。この表で注目したい第一の傾向は、「わからない」(第1回32.7%→第2回29.2%→第3回20.6%)が、第1回調査と第3回調査の間で12ポイントも減少したことである。小学生の進路意識が明確化したのである。この表で注目したい第二の傾向は、高学歴志向が弱まったことである。第3回調査でもっとも希望率が高いのは、「高校まで」(19.4%→23.4%→27.8%)で、その他「専門学校・各種学校まで」(7.5%→10.9%→15.2%)と「中学校まで」(1.2%→2.1%→3.6%)を合計すると28.1%→36.4%→46.6%と増加している。これに対して、「四年制大学まで(大学院を含む)」(23.2%→24.8%→

22.8%)、「短期大学まで」(15.7%→8.4%→7.9%)であり、合計すると38.9%→33.2%→30.7%と減少をみている。なお、大学進学希望者のうち「大学院まで」(第2回10.4%→第3回9.3%)はおよそ1割であった。

最後に、表1-2-9で中学受験希望の有無別に将来希望する進学段階をみると、受験希望者は「四年制大学まで」「大学院まで」が39.4%であるのに対して、受験をしない子どもは半分以下の17.7%であった。これに対して、「中学校まで」「高校まで」とする割合は、受験希望者では18.9%に対して受験をしない者では38.6%と倍以上になっている。中学受験をするか否かで小学5年生の段階から進学意識が大きく異なっている。

表1-2-8 希望する進学段階(時系列・性別)

(%)

	第1回(2578)	第2回(2665)	第3回(2402)	第3回	
				男子(1238)	女子(1154)
中学校まで	1.2	2.1	3.6	4.4	2.6
高校まで	19.4	23.4	27.8	30.5	25.0
専門学校・各種学校まで	7.5	10.9	15.2	9.4	21.6
短期大学まで	15.7	8.4	7.9	6.1	9.7
四年制大学まで	23.2	14.4	13.5	15.3	11.7
大学院まで	—	10.4	9.3	9.3	9.3
その他	—	—	1.3	2.0	0.6
わからない	32.7	29.2	20.6	21.7	19.2

注1) —は該当項目なし。

注2) <>は男女で10%以上、< >は5%以上差があるもの。

注3) ()内はサンプル数。

表1-2-9 希望する進学段階(中学受験の希望別)

(%)

	中学校、 高校まで	専門学校・ 各種学校、 短期大学まで	四年制大学、 大学院まで	わからない	その他
全体(2402)	31.4	23.1	22.8	20.6	1.3
受験する(429)	18.9	23.3	39.4	15.2	2.8
まだ決めていない(1130)	31.2	23.0	20.4	24.0	1.2
受験しない(814)	38.6	23.5	17.7	19.2	0.9

注1) 中学受験希望の質問で、「無答・不明」の29名は表から省いた。

注2) ()内はサンプル数。

②将来つきたい職業

将来つきたい職業を具体的に記入してもらったところ、カタカナ名の職業が多数あった。また、スポーツ選手や専門職、社会＝経済的地位の高い職業のほか、美容師やペットショップなどの華やかで技能を伴う職業が多くあげられている。



あなたが将来、つきたい仕事は何ですか。

次にあげる職業のリストは、将来つきたい具体的な職業名をあげてもらった結果である。ここでは、ランダムに449名の児童を抽出している。将来つきたい職業を具体的に記入してもらったところ、カタカナ名の職業が多数あった。また、スポーツ選手や専門職、社会＝経済的地位の高い職業の他、美容師やペットショップなどの華やかで技能を伴う職業が多くあげられている。太字で書いてあるのは複数回答があった職業（人数）である。

アナウンサー（2）/アナウンサー、歌手/アニメの声優/イタリア料理の店員/イラストレーター（3）/ウェイトレス/うどん屋/お店屋さんの人/お菓子屋（2）/お寿司屋/お笑い芸人/お店の店長、美容師/お店を開く（3）/お店屋/お父さんのパソコンの仕事を手伝う/お父さんの後継ぎ/カメラマン（3）/ケーキ屋（6）/ケーキ職人/ゲームデザイナー（6）/ゲームデザイナー、マンガ家/ゲームを作る人/ゲーム屋/ゲーム屋、おもちゃ屋、くいもん屋/ゲーム会社/ゲーム関係/コック（3）/コンビニ、美容師/コンビニで働く人/コンビニのバイト/コンビニの店員/コンビニの店長、会社員/コンピュータグラフィックに関する仕事/コンピュータグラフィックの制作/サラリーマン（4）/スタイリスト、後継ぎ/スタントマン/スチュワーデス（3）/スチュワーデス、タレント/スパイクを作っている会社/スポーツで使う物を作る会社員/スポーツ選手/スポーツ選手日本代表/ソフトボールの先生/ソフトボール選手/タクシーの運転手/ダンスの先生/デザイナー/デザイナー、洋服屋/デザイナー、メイクさん、美容師/デザイナー、学校の先生/テレビの司会、警察、プロのサッカー選手/トラックの運転手、コック/トラ

ック運転手/トラック運転手、ゲームデザイナー/トラック運転手、碎石会社/トランボリンの先生/トリマー/パーマ屋（2）/バイクスタント/パイロット/パイロット、野球選手/バスケット選手、ミニバスを教える人/バスの運転手/パソコンを作る仕事/パソコン関係のサラリーマン/バレーボール関係の仕事、できれば監督、コーチ/バレーボール選手/バレリーナ、バレエの先生/パン屋（3）/パン屋、ケーキ屋、花屋の店員/ピアニスト（2）/ピアノ、スポーツの先生/ピアノの先生（2）/ファッションデザイナー（2）/ファッションデザイナー、スタイリスト/プロサッカー選手（5）/プロサッカー選手、大工/サッカー選手（16）/サッカー選手、ボールを作る人/サッカー選手、小学校の先生/プロ野球選手（25）/野球選手（15）/プロ野球選手（メジャー）/プロ野球選手、大工/ヘアメイクアーティスト/ペットショップ/ペットショップで働く/ペットショップの人/ペットショップの店員（3）/ペットショップ屋/ペット屋/ペットブリーダー/花屋でバイト/ペンキ屋/まじめな会社員/マンガのキャラクターの絵を描く、マンガ家/マンガを描く仕事/マンガ家（5）/マンガ家、ゲームを作る人/マンガ家、ドラマのヒロイン/マンガ家、医者/マンガ家、中国でパンダ保護会に入る/マンゴー畑の仕事/みんなの役に立てる医者/メイクさん/メイクさん、美容師、レストラン、ケーキ屋/ラーメン屋/リボンアートとかで花を作ったりしたい/レストラン/レストランの店員、坊さん/医者（3）/歯医者（2）/医者、看護婦、保護員などみんなの役に立てる人/医者、スチュワーデス/医者、看護婦/医者、牧師/一流会社のキャリアウーマン/宇宙飛行士/家の仕事を手伝う/科学者（5）/歌手（7）/歌手、雑貨屋/歌手、小学校の先生、保姆/歌手、野球選手、ゲームソフトを作ったり考えたりする、アイドル、ピアノの先生/花屋（10）/花屋、獣医/花屋、幼稚園の先生/画家/会社の社長（2）/会社員（2）/絵を描

く／学校の先生（６）／環境を取り戻す仕事／環境を守る仕事／看護婦（７）／看護婦、ハンバーガー屋の店員、メイクさん、ケーキ屋、パン屋／看護婦、歌手／看護婦、保母／機械を造る仕事／機械を造ったりする仕事／記者／競艇の選手／恐竜の化石を掘り出す仕事／教授／靴を作る会社の人／警察官（５）／警察官、刑事／建材会社の社長／建設する家などの模型を作る人／建築家、マンガ家／犬の調教師／後継ぎ／考古学者／事務所で働く／耳鼻科の医者、動物を飼ってふれあうことができるようなお店を出す／自然づくり／自分の会社で働く／書道の先生／社会人／車のレーサー／車の整備をする人／車の設計の人／寿司屋／獣医（２）／獣医、美容師／塾の先生／将棋の名人／小学校の教師／小学校の先生／小説家、マンガ家／小物屋／消防士／焼き鳥屋／図工の先生／図書館の貸し出し係／水泳の先生、人の役に立てるような仕事／水泳選手、看護婦／政治家、キャリア、空軍、ゲームデザイナー、警察官、獣医／生物を観察する仕事／石材業／戦闘機や潜水艦を造る／大工（１３）／大工、ゲームを作る人、普通の

会社員／大工、パン屋、バスの運転手／大工、教師、ラーメン屋、文房具屋／卓球を教える先生／宅配便みたいな仕事／通訳（２）／鉄道の運転手（２）／電力会社の社員／東京大学の先生／動物とかかわり合える仕事／動物のお医者さん／動物園の飼育係／動物園の人／動物関係の仕事／動物病院などの医師／動物保護官／縄跳び選手／農家／販売員（レジ、ラッピングなど）／美容師（６）／美容師、サッカー選手、サッカーのコーチ／美容師、料理人、ペット屋の店長／病院、ケーキ屋／弁護士／弁護士、検事、医者／弁護士、裁判官、デザイナー／保育園の先生／保健の先生、マンガ家／保母（１３）／保母、デザイナー／牧場／牧場や動物園のような動物の世話ができる場所／本屋／本屋の店員／未定（決めていない）（４０）／薬屋／薬剤師（３）／友だちと車屋になって自分オリジナルの車を造る／有名人／幼稚園の先生（２）／洋服のお店を開く／洋服屋／料理／料理の先生／力仕事／老人ホームでおじいさんおばあさんの世話をする、花屋／